

高齢者歯科学分野 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工医療科学
先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

演題：
高度顎堤吸収症例に対応する
全部床義歯のアウトライン

講師：
松丸悠一先生(Matsumaru
Denture Works代表)



日時：2025年10月20日(月) 17時30分～19時00分頃予定

場所：D棟4階 歯学部特別講堂

要旨：私は現在、総義歯に特化した臨床を実践しており、「目の前の患者にとって真に受け入れられる義歯とは何か」を日々模索している。総義歯臨床において義歯床の安定は咬合を支える基盤であり、その重要性は論を俟たない。また、適切な床外形は、精度の高い咬合採得、人工歯排列、さらには咬合のマネジメントに欠かせない要素である。

本講演では、治療用義歯を応用しながら臨床で得てきた知見をもとに、とりわけ高度顎堤吸収症例に特有の課題に焦点を当てる。下顎では、唇側・頬側部、レトロモラーパッド部、舌下部、舌小帯部、顎舌骨筋線部といった部位ごとに考慮すべき外形の要点を整理し、上顎においても唇側および頬側の形態に注目する。それぞれの部位に潜む誤りやすいポイントを抽出し、床縁および研磨面の設定が義歯の安定性や機能性にどのように影響するのかを解説する。

高度顎堤吸収という条件下においても、義歯の受容性と満足度を高められることを示し、臨床に役立つ実践的視点を提供したい。

担当：角南明歩 sunami.a.1c6d@m.isct.ac.jp
高齢者歯科学分野 (内線5586)